

藍住町 議会だより

第 117 号

2024(令和6)年5月25日

藍住町議会
ホームページ

(アドレス)

<https://www.town.aitzumt.jp/gikai/>



3月定例会

議会の新構成.....	P. 2～3
令和6年度一般会計・特別会計当初予算.....	P. 5
常任委員会～主な質疑～.....	P. 6～7
一般質問～町政のここが聞きたい～... P. 8～12	
わたしの一言・議会のうごき.....	P. 16



～未来の自分を助ける防災～
藍住北幼稚園 避難訓練 防災紙芝居

議会の新構成

任期満了に伴う町議会議員選挙が2月4日に行われ、新たな議員16人が選ばれました。任期は令和6年2月29日から令和10年2月28日までの4年間です。

改選後、初の臨時議会が2月29日に招集され、議会の構成が決まりました。

第44代議長 **米本 義博氏**

第43代副議長 **鳥海 典昭氏**

【議長 米本義博氏の略歴】

令和2年2月初当選。2期目。

第42代副議長、建設産業常任委員会委員長、特別委員会の委員長などを歴任。

【副議長 鳥海典昭氏の略歴】

平成28年2月初当選。3期目。

建設産業常任委員会委員長、総務文教常任委員会委員長、特別委員会の委員長などを歴任。

議長就任のご挨拶

議会議長 米本 義博



議長
米本 義博



副議長
鳥海 典昭

この度、藍住町議会議長に就任いたしました米本義博でございます。

大変光栄に存じますとともに、議長として重責を担うことになり、その使命と責任の大きさに、身の引き締まる思いであります。

さて、我が国の地方自治の本旨は、議会と執行機関とが共に切磋琢磨し、住民の福祉の向上に努めていく二元代表制にあると考えております。

二元代表制の一翼を担う藍住町議会には、現場の多様なニーズを把握し、町長をはじめとする執行機関としっかりと議論を重ねること、よりよい政策を実現していく責務があります。

本町を取り巻く環境は、毎年変化しており、厳しい財政状況の中で、防災、危機管理、少子高齢化社会に対応した医療、福祉、教育の充実への取組など重要な政策課題が山積しております。

私は議長として、誰もが藍住町で生まれること、育つこと、暮らすことを誇りに思っただけのようなまちづくりを町民の皆様と共に目指してまいりたいと考えております。

藍住町のさらなる発展のために何ができるのかを考え、私の持てる力の全てを捧げる決意でございますので、どうか町民の皆様におかれましては、本町議会に對しまして、御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、藍住町の限らない発展と町民の皆様の御健勝をお祈り申し上げ、就任の御挨拶といたします。

特別委員会

藍住町防災対策特別委員会

委員長 新居 純一

副委員長 永浜 浩幸

委員 栗島 和義

委員 竹内 君彦

委員 前田 晃良

委員 森 伸二

委員 小川 幸英

委員 林 茂

委員 鳥海 典昭

藍住町議会広報特別委員会

委員長 竹内 君彦

副委員長 元木 春香

委員 栗島 和義

委員 新居 純一

委員 前田 晃良

委員 宮本 影子

議会改革調査特別委員会

委員長 竹内 君彦

副委員長 紙永 芳夫

委員 栗島 和義

委員 新居 純一

委員 元木 春香

委員 永浜 浩幸

委員 前田 晃良

委員 宮本 影子

委員 森 伸二

委員 小川 幸英

委員 林 茂

委員 奥村 晴明

委員 佐野 慶一

委員 森 志郎

委員 鳥海 典昭

交通移動支援対策特別委員会

委員長 林 茂

副委員長 永浜 浩幸

委員 栗島 和義

委員 新居 純一

委員 元木 春香

委員 紙永 芳夫

委員 竹内 君彦

委員 前田 晃良

委員 宮本 影子

委員 森 伸二

委員 小川 幸英

委員 奥村 晴明

委員 佐野 慶一

委員 森 志郎

委員 鳥海 典昭

議会運営委員会

委員長 森 志郎

副委員長 佐野 慶一

委員 新居 純一

委員 永浜 浩幸

委員 前田 晃良

委員 森 伸二

一部事務組合等
議会議員

板野東部消防組合議会

佐野 慶一

森 志郎

徳島県後期高齢者医療
広域連合議会

鳥海 典昭

監査委員

議員の中から選出される
監査委員

前田 晃良

(敬称略)

常任委員会の顔ぶれ

総務文教常任委員会



委員長
森 伸二



副委員長
佐野 慶一



委員
栗島 和義



委員
小川 幸英



委員
林 茂



委員
米本 義博

建設産業常任委員会



委員長
前田 晃良



副委員長
紙永 芳夫



委員
竹内 君彦



委員
森 志郎



委員
鳥海 典昭

厚生常任委員会



委員長
永浜 浩幸



副委員長
新居 純一



委員
元木 春香



委員
宮本 影子



委員
奥村 晴明

3月議会定例会が3月6日から25日までの20日間の会期で開会され、下記の議案について審議しました。
高橋町長は令和6年度の所信表明を行いました。詳細については、広報あいずみ4月号に掲載しています。
一般質問では5人の議員が登壇し、町政について質問しました。

3月定例会

～町長提案～

令和5年度藍住町一般会計補正予算	可	決
令和5年度藍住町特別会計(国民健康保険事業)補正予算	可	決
令和5年度藍住町特別会計(介護保険事業)補正予算	可	決
令和5年度藍住町特別会計(介護サービス事業)補正予算	可	決
令和5年度藍住町特別会計(後期高齢者医療事業)補正予算	可	決
令和6年度藍住町一般会計予算	可	決
令和6年度藍住町特別会計(国民健康保険事業)予算	可	決
令和6年度藍住町特別会計(介護保険事業)予算	可	決
令和6年度藍住町特別会計(介護サービス事業)予算	可	決
令和6年度藍住町特別会計(後期高齢者医療事業)予算	可	決
令和6年度藍住町下水道事業会計予算	可	決
令和6年度藍住町水道事業会計予算	可	決
監査委員条例の一部改正	可	決
藍住町の職員の育児休業等に関する条例の一部改正	可	決
単純な労務に雇用される職員の給与の種類及び基準を定める条例の一部改正	可	決
藍住町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正	可	決
藍住町国民健康保険税条例の一部改正	可	決
藍住町河川敷運動公園パークゴルフ場の設置及び管理に関する条例の一部改正	可	決
藍住町介護保険条例の一部改正	可	決
藍住町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	可	決
藍住町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正	可	決
藍住町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正	可	決
藍住町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	可	決
企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正	可	決
町道の路線変更	可	決
指定管理者の指定(日本道路株式会社徳島営業所)	可	決
指定管理者の指定(特定非営利活動法人あいずみスポーツクラブ)	可	決
藍住町教育委員会教育長任命の同意	堤 広幸氏	
藍住町副町長選任の同意	河原英治氏	
藍住町副町長選任の同意	齊藤秀樹氏	

～議員提案～

議員派遣の件	可	決
--------	---	---

～諮問～

人権擁護委員候補者の推薦	久次米貞美氏、賀治隆志氏
--------------	--------------

～報告～

令和6年度藍住町土地開発公社の事業計画

令和6年第1回臨時会

令和6年2月29日開催の臨時会において、議会の構成のほかに次の町長提案の議案について審議しました。

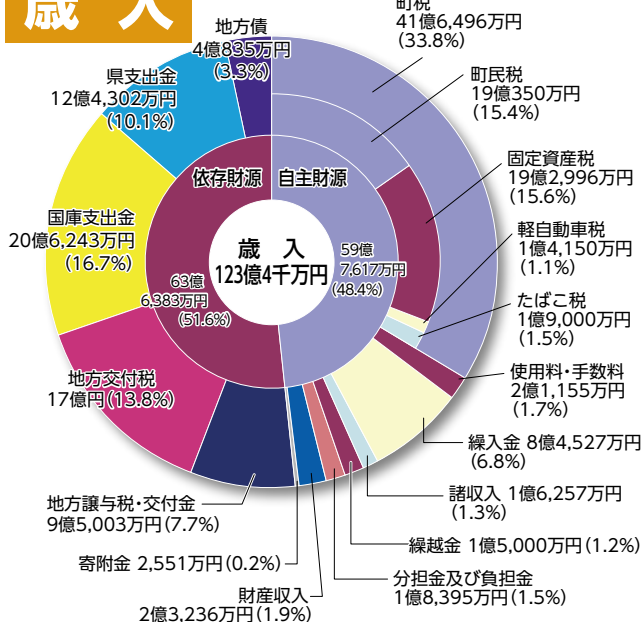
監査委員の選任の同意	承	認
令和5年度藍住町一般会計補正予算の専決処分の報告と承認	可	決
藍住町手数料徴収条例の一部を改正する条例の専決処分の報告と承認	可	決

令和6年度一般会計当初予算

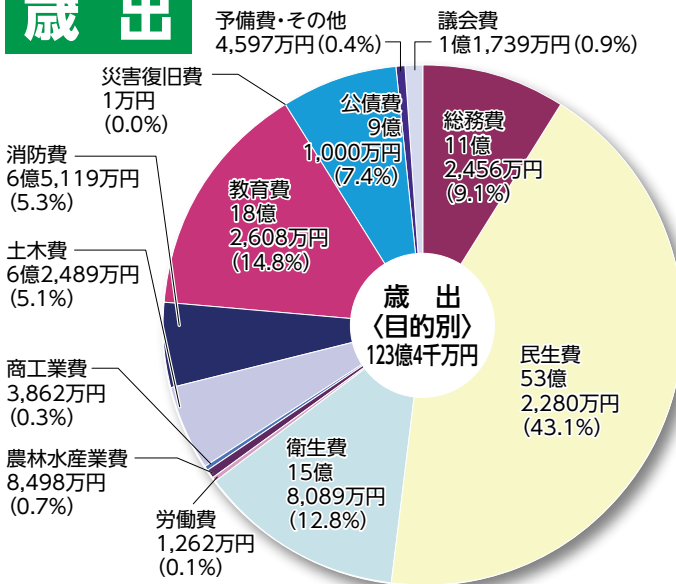
一般会計123億4千円を可決

前年度当初予算対比0.3%増

歳入



歳出



令和6年度一般会計・特別会計当初予算

(1万円未満四捨五入)

会計名	予算額	前年度当初予算対比
一般会計	123億4千円	0.33%
特別会計		
国民健康保険事業	34億852万円	△ 2.85%
介護保険事業	31億402万円	3.04%
介護サービス事業	1,240万円	10.71%
後期高齢者医療事業	4億9,400万円	9.49%

(1万円未満四捨五入)

会計名	収入総額	支出総額	差引額
下水道事業	3億9,099万円	3億6,739万円	2,360万円
	2億1,001万円	3億930万円	△9,929万円
水道事業	5億3,967万円	5億2,213万円	1,754万円
	502万円	3億9,125万円	△3億8,623万円

一般会計の主な事業・新事業

(1万円未満四捨五入)

・議場音響設備改修事業	1,200万円
・男性の育児休業取得奨励事業	250万円
・高齢者移動支援事業	2,101万円
・子ども子育て支援補助事業	1億1,422万円
・公共施設再生可能エネルギー設備導入事業 (西クリーンステーション太陽光パネル設置工事)	1億2,546万円

令和5年度一般会計補正予算

(1万円未満四捨五入)

歳入歳出
それぞれ

2億4,400万円減額

予算
総額

132億1,600万円

～主な補正の内容～

総務費	◆合同庁舎再生可能エネルギー設備工事、世代間交流施設整備事業等	△ 1億9,727万円
民生費	◆エネルギー食料品等価格等高騰重点支援給付金事業、障害者給付費等	5,192万円
衛生費	◆新型コロナウイルスワクチン接種事業、合併浄化槽補助事業等	△ 1億6,746万円
農林水産業費	◆地積調査事業等	923万円
教育費	◆勝瑞城館跡整備事業、文化ホール事業等	△ 2,120万円

常任委員会 主な質疑

3月定例会の議案については、その審査を各常任委員会に付託しました。
各委員会において審査した結果、それぞれ全会一致で原案可決され、最終日に各委員長から審査結果の報告がありました。

主な質疑・意見については次のとおりです。

厚生常任委員会

委員長 永浜 浩幸

令和6年度
特別会計予算

〔国民健康保険事業〕

問 歳入歳出予算事項別明細書1総括(歳入)の中で、国民健康保険税はマイナス5390万円となっているが、人が減ったとか、保険税が安くなったとかで減っているのか。あと、県支出金も約1億円減っているが、同じ理由か。

答 加入者数が減っている状況が反映していることである。

〔介護保険事業〕

問 歳入で介護保険料が1200万円減っているが、歳出で保険給付金は増えている。これはどういう意味か。

答 介護保険料の減収は基準月額を200円引き下げることが主な要因で、国の省令改正に伴う介護保険料段階の増加による増収を含めても減収を見込んでいる。

方で、給付費は、国の制度改正による介護報酬改定の加算分と経年的な給付費の増を反映している。

〔後期高齢者医療事業〕

問 保険料が増えているが、支出にあたり、給付金も増えている。これは、後期高齢者が増えていると考えたらよいのか。

答 被保険者数の増加により保険料の収入も上がり、それに伴い、給付費も上がってきている。

問 高齢者が増えるということは、町として高齢者対策を充実していかなければならないということにもつながっていくのか。

答 当然、高齢者対策に重点を置いて実施していくというふうには考えている。

〔国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療保険〕

問 各滞納が見受けられるがどのような

解消していくのか。

答 国民健康保険税について、まずは滞納者と協議を行い、一段目は分納の話を進めている。分納においても対応しきれない、生活保護や本人不明の場合は、最終的には欠損処分となる。

滞納整理機構等とも協議しながら、滞納が減るよう努めている。欠損として消えるケースは、1番目が時効の完成によるもの。もう一つが即時消滅。そのほか、貧困等により滞納処分を3年間停止した方について、消滅する処理がなされている。国民健康保険税について欠損した令和4年度の実績は、滞納処分の停止を3年間継続したものが33万800円、時効完成によるものが476万9747円、即時消滅については225万7853円。



建設産業常任委員会

委員長 前田 晃良

令和6年度
一般会計当初予算

〔個別施設計画策定事業〕

問 路面性状調査個別施設計画策定業務に900万円計上されているが、その内容は何か。

答 限られた予算の中で舗装の補修などを進めているが、住民からの舗装の要望も多数あるため、国費や起債を活用して計画的に事業を進めたいと考えている。国費を活用するためには、まず、路面性状調査に基づいて長寿命化計画に当たる舗装個別施設計画を策定する必要があるため、これらを委託業務にして実施したい。

〔公園管理費〕

問 みどり橋について、老朽化による緊急点検を行っているが、4月以降も通行止めが続くのか。また、今後どのような方向性で考えているのか。

答 既に業者から、橋のたもとにおいて橋脚部分が腐食により4分の3の耐力を失っていると報告があり、現状では危険な状態にあると考

問 排水対策検討業務委託料について、750万円の予算が組まれているが、この内容は何か。

答 勝瑞地区千間堀について、降雨が多

総務文教常任委員会

えている。今後、改修工
事を行っていくのか、撤
去の方向で考えていくの
かを検討することとして
おり、4月以降も通行止
めを継続する予定であ
る。方向性が決まり次第
議会に報告させていただ
く。

体が丸となって策定す
る計画があり、適正な点
検と修繕、データ管理な
どを行い、各町営住宅ご
とに長寿命化のために事
業実施予定一覧を作成す
るものである。

町営住宅個別施設 計画策定事業

委託料が750万
円となっているが、
この内容は何か。

町営住宅は、現在
10団地があるが、こ
の町営住宅に関して、安
全性と維持管理を実施す
るために国と地方公共団

道路簡易舗装費

前年度が6600
万円となっていた
が、今年度は3600万
円となり、3000万円
の減額になっているが、
減額にした理由は。

現在のところは36
00万円、当初は
やっていたこうと考
えている。舗装要望は多くある
ため、財政当局と協議し
ながら補正対応をでき
たと考えている。

河川管理

正法寺川の法面の
所有と管理はどこ
か。法面に果樹などを
たくさん植えている所が
あるが、できるだけ早い機
会に伐採して整備しな
ければ、地震や集中豪雨
などがあつた場合、害に
なるのではないか。

所有は国で、法面
も含めて管理を県
がしている。法面の清掃

令和6年度 一般会計当初予算

危機管理対策費

災害物資集配拠
施設整備事業につ
いて。

具体的な場所は現
在、検討中である
が、令和6年度に用地を
取得、建物の設計をし、
令和7年度に建設したい
と考えている。

以前、東部地区に
避難場所を設置す
べきとの質問に、場所を
検討するとの答弁だつた
が、この集配拠点との関
連性は。

については県に働きか
け、入札までは至つたが、
その後、不調になったと
聞いている。増水したと
きは水の流れを阻害す
る恐れもあり、流下の低
下にもなるため、県に確
認し、対応していただく
ように要望したい。

委員長 森 伸二

避難場所をつくる
という限定的な答
弁ではなく、そういう施
設は必要であるとの認識
でお答えをした。

別のものか。

別に新たにつくる
との考えは、現時
点では特にはない。

教科書指導書整備費

前年度にはなかつ
た予算が計上され
ているのでは。

教科書の改訂は、
大きく10年を一区
切りとしている。その間
に4年ごとを2回、最後
に2年の改訂があり、今
回は、その2回目の4年
の改訂があるため、昨
年は改訂がなかった。

音響設備の改修工
事について、どの
ような工事か。

昨年の6月議会にマ
イク等の不具合が生
じ、応急的な措置として

修繕を行った。業者から、
議場の設備、マイク整備
等、システムの入替えが
必要であるとのこと、
予算計上をしている。

これからどうい
つたものをするか検
討していく。

財政管理費

庁舎の屋上に太陽
光パネルを設置す
るという計画で、1億3
300万円マイナスに
なっているが、全体の工
事費の当初予算から比
べて減つたのか。

令和5年度と、令
和6年度の増減の
比較となっている。庁舎
の再生エネルギーの予算
は、5年度、予算付けを
して終わつたため、6年
度はないのでゼロとい
う意味合いである。

進行状況は。

1月に竣工してい
る。

町制施行70周年記念事業

町制施行70周年記
念事業の11万円の
用途は。

来年4月に70周年
を迎えるため、記
念誌発行事業で500万
円計上している。6年度
に、さまざまな準備をし

ていくために必要な消耗
品等を計上したもの。
何か事業をする予
定か。

これからどうい
つたものをするか検
討していく。

藍染普及推進事業

藍の館の入館者は
増えているのか。

今年度の見込みで
1万6000人ぐら
い。だいぶ増えている。

台湾からの飛行機
が就航になり、外
国人観光客も増えると思
うが、その対策は。

インバウンド用の
旅行の企画を行つ
ており、奥村家の西座敷
で食事をしたり、阿波踊
りの連を呼んだりしてい
くような形で、今、実施
をしている。

陸河川敷運動公園パークゴルフ場の 設置管理に関する条例の一部改正

藍住町河川敷公園
パークゴルフ場の
管理者について、日本道
路株式会社徳島営業所の
ほかに応募した業者はあ
るのか。

日本道路株式会社、
1者である。



現場視察を行う建設産業常任委員



もと き 春香 議員

投票率について

若年層の政治的無関心、選挙離れが指摘されている

問 今後、投票率を上げるための対策や戦略は。

答 引き続き地道な啓発活動を続けるとともに、特に若者に向けた啓発活動を実施することで投票率向上に努めたい。

問 投票所までの交通手段がない方への対策は。

答 移動が困難な有権者については、公職選挙法において一定の要件を満たす場合に自宅での郵便による不在者投票が認められている。制度の利用には事前の申請が必要となるため、今後も周知に努めたい。

問 来年12月には町長選を控えているがどのような投票率を上げ、目標として何%を目指しているのか。

答 機運を醸成する取組や主権者教育は今後も進めていきたいと考えているが、投票率の目標設定については難しい。

待機児童について

保育士の確保と定着が大きな課題であることは認識している

問 現在の保育士、幼稚園教諭の雇用状況について何か取り組んでいるのか。

答 人員配置基準を踏まえ、必要な職員数の確保に努めている。基準を満たせない場合、会計任用職員、保育補助者を雇用することで保育体制を確保している。

問 本町として業務量や残業など省く見直しや効率化の呼びかけ、義務づけなどを検討しているのか。

答 新たに令和6年度から中央保育所の事務負担軽減を目的とした事務員の配置をすることとしている。



藍住町住吉児童館

放課後学童について

適切な運営に取り組んでいきたい

問 待機児童数の結果を受けて対策としてやっていることやこれから考えていることはあるか。

答 今後、年度前期に多い待機児童の解消と適切な運営に取り組んでいきたい。

問 保護者の意見として空き教室などの利用を求める声を耳にする。待機児童や児童の帰る距離の負担を軽減できないか。

答 現在のところ、空き教室を利用することは考えていない。令和6年4月時点での予定では各小学校で使われていない教室もない。下校時の見守り体制の強化や児童自身への危険認識の啓発を進めることで、少しでも安心いただけるよう努めたい。

公式ラインの活用について

まずはこれまで以上に町からの情報を得られる環境づくりを推進したい

問 通学路や街灯などの補整が必要な箇所を町民目線で発信しやすくするため、履歴の詳細、文字や写真の添付などが明確である。そういった意味での公式ラインの活用も取り入れてみてはどうか。

答 寄せられる情報への対応をはじめとする運用及び体制の整備などの課題がある。新たな機能を拡充するには、新たなシステムの導入も必要である。



おがわ ゆきひで 議員
小川 幸英

高齢者障害者対策について 今後とも制度に関する情報提供を 積極的に行う

問 障害福祉サービス費等で6億4038万5622円、相談支援給付費等877万4308円、補助装具費735万6763円、高額障害福祉サービス給付費1万1403円合わせて6億5667万8096円とのことであるが車椅子の修理、補助はどうなっているか。

答 補装具費支給制度に基づく運用を行っており、昨年度は交付7件、修理7件。

問 増え続ける高齢者に対して寄り添った取り組みは考えているか。

答 新たに策定を進めている「藍住町第9期介護保険事業計画及び高齢者福祉計画」では5つの基本目標を設定し、49の取組を展開することとしている。

問 本町での福祉避難所は何か所あるか。また、日頃の連携や避難訓練はしているか。

答 現在、指定福祉避難所は7か所。町の一斉避難訓練の際には連携して一般の避難所から福祉避難所へ要配慮者の移送訓練をするなどの取組も行っている。

防災対策について さらなる防災力の強化に努めたい

問 能登半島地震を教訓とした取り組みは考えているか。

答 県が関係機関と立ち上げた断水対策、道路啓開、停電対策、通信途絶対策のワーキンググループに参加し、それぞれの課題を分析した上で今後の災害対応に活用することとしている。

問 井戸の活用について、本町では個人事業所が所有する33の井戸を登録していると聞けが増やす努力はしているか。



藍住町合同庁舎1階防災展示コーナー

答 災害時の生活用水の確保について一層の対策を進めていく必要があると認識しており、さらに充実を図っていききたい。

問 自走式水洗トイレカーは水があればどこにでも設置でき、においの発生を抑えられるため、避難生活の質向上に果たす役割が大きいと聞く。購入を検討してはどうか。

答 導入費用や平時の活用方法、維持管理費など検討しなければならない課題もあり、現在のところ、導入は考えていない。

桜づつみ公園と 他の公園施設について 計画的な遊具の整備に努める

問 4年間止まっていた滝やせせらぎはいつできるのか。

答 7月の公園の再整備完了にあわせて、運転を再開する予定である。

問 ローラー滑り台解体費用について、当初予算額として工事請負費430万計上のうちローラー滑り台の解体費用130万とのことであるが、修理して使うことはできないか。

答 修繕費用が高額となるため、撤去する方針で進めている。

問 他の遊具の新設はどうなったのか。

答 現在、公園施設の維持管理計画の策定を進めており、計画的な遊具の整備に努めることとしている。



に い じゅんいち
新居 純一 議員

高齢者対策について

健康寿命の延伸及びフレイル予防に資する取組を継続していきたい

問 健康寿命延伸と介護予防には、フレイルを予防することが有効だと思うがどのように考えているのか。

答 高齢者が自ら外出する機会を提供することが重要であると考えている。

問 介護認定を受けている方々にも、あいずみスポーツクラブ教室等参加への助成を行ってはどうか。

答 要支援、要介護認定を受けられている方の社会参加を促す取組の展開に当たっては、心身状態の急変にも対処できる環境が整っていないければならないことから、事業受入先との協議が必要と考

えている。また、事業内容、受入体制、財源などを踏まえ、事業実施の可否については慎重な判断が必要と考えている。

上水道事業について

水道水の安定供給に努めていきたい

問 今後、本町の水道管の耐震化をどのように進めていくのか。

答 非常時でも良質で安全な水の供給ができるよう、避難所などの重要施設に向けて水道管の耐震化を計画的に進める必要があると考えている。

問 本町にも避難所に給水車を導入してはどうか。

答 平時にはどのように活用するのかも含め、インシヤルコスト、ランニングコストの両面においても情報収集に努めたい。

千間堀の排水路対策について 引き続き検討したい

問 これまでどのような対策を検討したのか。

答 令和2年度に部分改良による排水の分散が可能が検証したが、逆勾配のためほとんど効果がないとの結論に至った。令和6年度当初予算に勝瑞地区浸水対策検討事業を計上し、排水対策を引き続き検討したいと考えている。

問 あみだ橋以東も以前は重機を用いて土砂を取り除いていたと聞く。土砂、ビニール、コンクリート塊、側壁から生えている木等、流れを阻害しているものを取り除いていただき、住民の不安を取り除いていただきたい。

答 現地確認をして、流下を阻害しているようであれば適切に対応したい。排水路自身もかなり老朽化しており、重機を使ったしゅんせつ等には慎重に対応すべきと考えている。あくまでも藍住町建設協同組合が人力で対応していきたい。



千間堀



ながはま ひろゆき
永浜 浩幸 議員

防災、避難所運営について

町全体の防災力向上となる取組を進めていきたい

問

2月18日に開催された町民一斉避難訓練の指定避難所ごとの参加人数、アンケート結果の報告と今後の取組は。

答

参加人数(表)

指定避難所	参加者数(人)
藍住中学校	98
藍住東中学校	135
藍住東小学校	139
藍住西小学校	176
藍住南小学校	150
藍住北小学校	136

避難経路に倒壊する恐れがあるブロック塀がある、簡易トイレに手すりをつけてほしいなどのアンケート結果を踏まえ、令和6年度には危険なブロック塀の除去等に対する補助事業や新たに簡易トイレの手すりの備蓄などを予定している。

問

避難所運営マニュアルがあっても、町職員や自主防災組織等の役員の方々がどこまで御存知なのか。

答

まずは避難所運営マニュアルに沿った避難所開設から運営までの一連の訓練を実施し、マニュアルの周知を図りたい。

問

避難所運営ゲームHUGを使用して避難所運営を疑似体験をしてみてもどうか。

答

次年度以降、まずは職員の防災研修の一環としてHUGを取り入れたいと考えている。

問

現在、町内の自主防災組織同士の横のつながりはあるのか。今後、自主防災組織が横へつながっていく、ネットワークを持つていくということも必要でないか。

答

現時点で町内に81の組織が結成されている。代表者の方から情報交換の場は重要であるとの御意見をいただいております。来年度の早期に町内の自主防災組織の連合体を立ち上げ、ネットワークを構築していきたいと考えています。

問

災害時の非常水として威力を発揮する井戸、公園等に防災井戸の設置を検討してみてもどうか。

答

まずは、災害応急用井戸を有効に活用できるように体制を整え、周知啓発により登録者数を増やし、その上でさらに確保が必要であると考えられる場合には、公園など地域の活動拠点に災害応急用井戸の設置も検討していきたい。

絵本ワールド開催について

効果や内容についても研究をしていきたい

問

今、現状どのように取り組んでいるか。

答

開催場所や負担金等を考慮すると、現時点で、藍住町での開催は難しい。今後も効果や内容について研究をしていきたい。

藍住町総合文化ホールのPRについて

今年から実験的にラジオでのスポットCMを流している

問

藍住町の文化の拠点となっていくものとして今後どのようにPRに取り組んでいくのか。

答

現在、広報、ホームページ、公式ラインやエックスを開設して情報発信しているが、今後、Instagramなど、ほかのSNSの活用も視野に入れPRしていきたい。



藍住町総合文化ホール



はやし 林 しげる 茂 議員

子育て支援の拡充を

物価高騰対策事業として18歳までの児童に4月から利用できる5000円の商品券を支給

問

いま働く人の約4割が、非正規雇用であり、収入は正規雇用の6割程度になる。仕事も不安定で、結婚も子育ても大変な状況である。①子どもの医療費助成6000円の自己負担無しにした場合、年間必要な予算額はいくらか。②経済的に困難な家庭に就学援助の支給を進めること。小学校と中学校の支給状況は。③学校給食費の滞納状況と滞納の原因は。

答

①本町の令和5年度自己負担額総額は概算で3008万円を超える見込みであり、県負担金による負担額分を大きく上回る。②別表のとおり。(表1)③滞納状況は別表のとおり。(表2) 経済的な困窮の部分は恐らく就学援助の申請等につながっており、経済的な困窮による原因は少ないと考えている。

問

上板町議会で高齢者を対象とした带状疱疹ワクチン接種の助成を実施することを決めた。

带状疱疹ワクチン接種に助成金を
今後の国の方針に沿って带状疱疹ワクチン接種に関する方向性を検討したい

問

下水道事業の赤字2億3千万円あれば、それぐらいのお金を学校給食費の負担軽減のために投資すべきでは。

答

現時点では軽減措置の検討はしていない。国の学校給食費の無償化に対する動向を注視していきたい。

令和4年度 就学支援状況 (表1)

児童・生徒数(人)		認定者数(人)		児童・生徒数比(%)		
小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校	全 体
2,140	1,016	239	136	11.17	13.39	11.88

令和4年度 学校給食費滞納状況 (表2)

	小学校	中学校
未納額(円)	4,223,587	3,798,317

南海トラフ地震に備えた防災を

防災対策の体制強化について検討していきたい

問

災害が起きてからでは、人の命も暮らしも守れない。①木造住宅耐震診断費用3000円を無料にすること。②耐震改修支援事業の工事費用の補助金を増額すること。③汚水処理事業で下水道と合併浄化槽に要した事業費の内訳は。

答

①無料そのものが必ずしも耐震化推進のインセンティブになっているとは認識していない。②町としては、耐震診断の無料化や耐震改修の補助金増額ということではなく、まずは個別訪問や防災出前講座を通して直接耐震化を促し、あるいは防災訓練やイベントで耐震相談を実施するなど、防災に対する意識の向上に努めている。③汚水処理に要した事業費の内訳は、建設改良事業費としては令和4年度末で約67億5000万円、うち工事費は概ね51億円。

答

带状疱疹ワクチンには予防接種法上の位置付けがなく任意接種ワクチンである。予防接種は健康被害が生じることもあるため、予防接種法に基づき接種が望ましいと考えている。

徳島県保険医協会から実施の要望が出されており町も実施すること。

藍住町議会議員研修報告

3月1日、議会事堂委員会室1において、改選後初めての議員研修会を開催しました。

予算の編成権と提案権は自治体の長にのみ専属するものである一方、予算の議決権は議会のみが有する権限であり、議会に与えられている重要な役割の一つです。3月定例会における予算審議を控え、元四国大学経営情報学部教授の小笠原章氏を講師に迎え、「予算の審議 予算審議のポイント」と題し、地方議会議員が身につけるべき予算審議のポイントについて詳しく御講演いただきました。

講演では、予算は直接住民の生活を左右し、その福祉のいかんを決するものであり、堅実な予算を作成することが何よりも大切であるという予算の意義と考え方、予算の原則、予

算の構成、予算の補正などの説明がありました。

予算審議の一般的な着眼点としては、「基本構想に合致したのか」、「重点は何か」、「経常収支比率は前年度と対比してどうか」、「人件費、物件費の抑制策はとられているか、類似団体と比較してどうか」、「経済効果を検討しているか」、「不時の支出に財源が留保さ

れているか」などがあり、「計画を実現しているか」、「長期事業に注意する」、「将来の負担につながるものを見逃さない」などのポイントについて受講しました。

今回の研修で学んだことをいかし、町民の皆様への負託に応え、信頼される議会を目指して全力で取り組んでいきたいと考えています。



本町議会の最高規範である「藍住町議会基本条例」の理念を浸透するため、3月27日、議会事堂委員会室1において、議員研修会を開催しました。

元四国大学経営情報学部教授の本田利広氏を講師に迎え、「議会基本条例について考える」と題し、議会基本条例の目的や規定されている項目、課題などについて御講演いただきました。

講演後の質疑応答では、町政の情報公開についてのほか、次のとおり質問が出され、講師から回答がありました。

問 「質問・質疑のだけの場合から議員間討議を重視する議会」とあるが、議員間討議がなぜ重要になってくるのか。

答 質疑応答が終わった後、こういう理由で賛成、反対ということをはっきりさせるために自由討議の制度を

設けており、態度を決めかねるような場合に必要になるのではないかと思います。賛成者、反対者が議決前に意思表示をはっきりするというところで議員間討議を設けていく意味ができてくると思います。

問 オンラインで一般質問をすることについて条例で定めた場合、何か問題はありますか。

答 法律上、オンラインでは本会議に出席とみなさないと



いうのは、議決の場合、本人確認がなかなかできないことや不正防止の担保も大事であることから、今のところはそこまでいっていない。一般質問の場合は、条例で認めれば一概に違法とはいえない。

今回の研修で学んだことをいかし、これまでに以上に責任ある議会活動を行い、さらに研鑽を積みみたいと考えています。

藍住町議会全員協議会

3月6日に開催された議会全員協議会では、理事者からの報告及び協議事項について説明を受け、協議を行いました。理事者退席の後、1月1日に発生した能登半島地震により被災された地域への対応について協議し、一日も早い復旧、復興を願い、義援金20万円を石川県町村議会議長会へ送金することとなりました。

3月25日に開催された議会全員協議会では、一般質問に関する留意事項の確認をしました。一般質問は住民の日常生活を反映した議事であり、分かりやすい議論が展開されるよう、「一般質問通告書には、一問一答（1つの質問事項に対し、1つの答え）が明確となるよう記載すること」、「一般質問通告書には、質問の内容を具体的に掲載すること」、「一般質問を行うときは、一問一答で行うこと」など11項目の徹底を行いました。



議会改革調査特別委員会

3月25日に招集された議会改革調査特別委員会において、活動方針について協議しました。

委員からは、「議会での議員の呼び方について」。「一般質問の時間について」。「投票率が低い問題について」。「一般質問の件に付け加え、一般質問と委員会の質疑のやり方を含めた課題として取り組んでいってはどうか」。など多くの意見が出されました。

協議の結果、議会での議員の呼び方、一般質問の時間、投票率アップのために何か議会で行っているのかについて近隣市町村の状況を調べることにし、次回以降、一般質問と委員会での発言や時間、投票率アップの模索について、協議をしていくこととなりました。

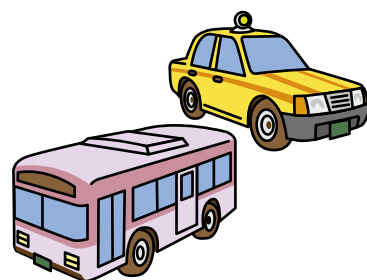


交通移動支援対策特別委員会

3月25日に招集された交通移動支援対策特別委員会において、活動方針について協議しました。

委員からは、「バス、タクシー、デマンドバスなどテーマを分けて小委員会をつくって検討し、全体に共有してはどうか」。「類似都市のやり方など、参考になる部分の資料集めをすることから始めてはどうか」。「基本的な知識を学ぶため、講師を招いて勉強会をしてはどうか」など多くの意見が出されました。

協議の結果、まずは、交通手段について理解するための資料集めや交通政策に詳しい方を招いての勉強会を行うことにし、小委員会については必要となった場合につくることとなりました。



藍住町防災対策特別委員会

3月27日に招集された藍住町防災対策特別委員会において、活動方針について協議しました。委員からは、「前任期では議会用の防災チェックカードを作成したが、町民向けの内容を検討していかななくてはならない」「議員間で避難訓練をしてはどうか」「先進地に研修に行ってはどうか」「HUG（避難所運営ゲーム）の勉強会をしてはどうか」「災害時にオンラインで会議ができるような体制づくりを検討してはどうか」など多くの意見が出されました。

協議の結果、次回以降、いくつかに絞り、進め方を決めていくこととなりました。



藍住町議会広報特別委員会

4月12日に招集された藍住町議会広報特別委員会では、議会だより第117号の作成について協議を行い、紙面のレイアウトを決定しました。

また、本委員会の活動方針について委員より「子供たちの絵を議会だよりの紙面に掲載しては」「議会だよりを徳島県電子書籍ポータルサイトに掲載できないか」「本会議を 유튜브 で配信しては」「議会のキャラクターを作成しては」など多くの意見が出されました。

今後、本委員会において、委員から出された意見を取りまとめ、何をどういう方法で実行していくのか協議していくこととなりました。



定例会案内

本会議を傍聴しませんか

次の定例会は6月です。

定例会日程や議会だよりについてはホームページに掲載しています。

次号は8月に発行します。

詳しくは議会事務局まで

お問い合わせ ● 議会事務局 ☎(088)637-3127

編集委員会では、町民の声の投稿を募集しています。
議会や町政・議会だよりに関する御意見をお寄せください。

投稿規定

- ① 住所・氏名・電話番号を明記。
 - ② 掲載時に匿名を希望する方は申し出てください。
 - ③ 字数は500字以内。
 - ④ 投稿者の多い場合には、掲載月を調整する場合があります。
- ※ 郵送またはメールによる投稿をお待ちしています。
議会事務局 E-mail: gikai@aizumi.i-tokushima.jp



春の交通安全キャンペーン



「議会だより」の表紙に掲載する写真を募集します。皆様の応募をお待ちしています。

**藍住町議会だより
表紙写真募集**

▲詳しくはこちらから

～「産後ケア」を知ってますか？～

藍住町に引っ越しをしてきて34年になる産婦人科医です。

今年3月で分娩の取り扱いが中止しましたが、引き続きお母さんのお手伝いができればと考え、日帰りの「産後ケア」事業は継続しています。

出産のダメージは全治2か月の交通事故と同じくらいだといわれています。お母さんはそんな状態から育児が始まり、目を離すと赤ちゃんがどうにかなってしまうのではないかとという緊張感に加え、授乳やお世話が続き、疲労が蓄積していきます。産後うつになる方もいます。

そんな時に頼ってほしいのが「産後ケア」です。条件はありますが、藍住町に住民票があれば利用ができます。育児や心身の悩みを相談することもでき、休息をとることもできます。産後うつは社会問題にもなっており、藍住町も産後ケアの充実に取り組んでいます。私たちも、産後ケアを含め子育てに優しい街になれるよう町と協力をしていこうと思っています。

子育ては長距離走です。家族だけで頑張る必要はありません。少し疲れたときは「産後ケア」を利用してみませんか？希望の方は藍住町こども家庭センターまで御相談ください。



議会のうごき

2月

- 4日 藍住町議会議員一般選挙
- 5日 徳島県市町村トップセミナー（徳島市）
- 9日 板野郡町議会議長会定例会
- 13日 徳島県後期高齢者医療広域連合議会定例会・全員協議会（徳島市）
- 16日 当選議員初顔合わせ会
- 18日 町民一斉避難訓練
- 22日 徳島県後期高齢者医療広域連合例月出納検査（徳島市）
- 28日 徳島県町村議会議長会定期総会（徳島市）
- 29日 自治功労者・町村議会表彰式（徳島市）
- 令和6年第1回臨時会
- 令和6年第1回藍住町議会定例会の日程等について

3月

- 1日 藍住町議会議員研修会
- 6日 議会運営委員会
- 一般質問の通告について
- 3月議会定例会開会
- 議会全員協議会
- 藍住町第9期介護保険事業計画及び高齢者福祉計画について
- 老人福祉センター「藍翠苑」と勤労女性センターを複合化した新たな施設（仮称）世代間交流施設」の整備について

4月

- 7日 議会運営委員会
- 一般質問について
- 8日 厚生常任委員会
- 11日 中学校卒業式
- 12日 建設産業常任委員会
- 14日 総務文教常任委員会
- 19日 小学校卒業式
- 3月議会定例会一般質問
- 22日 議会運営委員会
- 付議事件の追加について
- 教職員離任式
- 25日 3月議会定例会閉会
- 議会全員協議会
- 一般質問について
- 議会改革調査特別委員会
- 活動方針について
- 交通移動支援対策特別委員会
- 活動方針について
- 27日 藍住町議会議員研修会
- 防災対策特別委員会
- 活動方針について
- 28日 板野東部消防組合議会定例会（北島町）
- 1日 教職員着任式
- 小・中学校入学式
- 9日 藍住町議会広報特別委員会
- 12日 117号の作成について
- 19日 板野郡町議会議長会定例会・功労者表彰式（板野町）
- 20日 鳴門市新庁舎開庁記念式典（鳴門市）

編集後記

5月も後半となり初夏の訪れを感じる時期となりました。新入生、新入社員の皆様も、新しい環境に慣れてきた頃ではないでしょうか。

藍住町議会も2月の改選後、議会だより編集委員会から、新たに議会広報特別委員会へと名前を変更いたしました。藍住町議会を様々な角度から広報していくような新委員全員で努力してまいります。

新しい発想や提案で町民の皆様に、藍住町議会がどのような取組をしているのかを、より一層知っていただくように、分かりやすく発信していけたらと思っています。

（竹内 君彦）

藍住町議会広報特別委員会

委員長 竹内 君彦
委員長 元 木 春 香
委員 栗 島 和 義
委員 新 居 純 一
委員 前 田 晃 良
委員 宮 本 影 子